

「県立博物館・美術館の今後の在り方について」第二次答申（案）

第一次答申目次

第一次答申に際して

- 1 県立博物館の沿革
 - (1) 博物館設置構想と整備
 - (2) これまでの博物館の見直し経緯
 - (3) 今後の在り方検討の視点
- 2 博物館をめぐる現状と課題
 - (1) 博物館をとりまく社会状況の変化
 - (2) 県内博物館の現状と県立博物館の現状と課題
 - ① 県内博物館の現状
 - ② 博物館資料の収集と保管
 - ③ 調査・研究
 - ④ 展示
 - ⑤ 教育普及
- 3 これからの県立博物館
 - (1) 県立博物館の役割
 - (2) 博物館機能の強化・集約
 - ① 博物館資料の収集と保管
 - ② 調査・研究
 - ③ 展示
 - ④ 教育普及
 - (3) 博物館在り方検討の方向性

- 参考
- ・ 県立博物館・美術館の今後の在り方について（諮問）
 - ・ 県立博物館・美術館の今後の在り方に関する審議の経過
 - ・ 第12期千葉県生涯学習審議会委員・千葉県社会教育委員名簿

第二次答申目次

第二次答申に際して

- 4 中央博物館への機能集約と強化について
 - (1) 機能集約と強化の考え方
 - (2) 強化すべき機能
 - ① 調査・学術研究
 - ② 資料の収集・保管
 - ③ 展示等
 - ④ 教育・普及
 - ⑤ 支援
 - (3) 管理・運営・整備の方向性
- 5 地域史と特定テーマを扱う博物館について
 - (1) 中央博物館大利根分館（香取市）
 - (2) 中央博物館大多喜城分館（大多喜町）
 - (3) 関宿城博物館（野田市）
 - (4) 現代産業科学館（市川市）

第二次答申の審議を終えて
資料編

第二次答申に際して

県立博物館では、高度な調査・学術研究とそれに伴う成果の発信を中心に、生涯学習の普及・進展により、多様化する県民の学びのニーズへの適切な対応や、市町村等において増加してきた博物館・美術館の支援を行うという役割も求められています

第一次答申では、博物館をめぐる現状と課題を整理し、これからの県立博物館の役割を、

ア 全県域を俯瞰した資料収集・保管、調査・研究、教育・普及等を行う。

イ 県の魅力、県民の誇りとなるような文化・自然等の発信・紹介に努める。

と整理した上で、全県域を俯瞰した博物館を中心に、効率的かつ高度化した資料の一元管理や機能強化を進めることとしました。また、地域史と特定テーマを扱う博物館については、長期的な視点で、地元での活用を含め、現状の県運営の在り方を見直すこととしたところです。

その後、県教育委員会において在り方の検討を関係機関等との協議を行い、その状況を踏まえつつ、県立博物館・美術館部会を中心に今後の在り方について審議を重ねてきましたので、以下にその結果を第二次答申として示します。

4 中央博物館への機能集約と強化について

(1) 機能集約と強化の考え方

現在、中央博物館本館以外は、地域に小規模な博物館が散在し、それぞれ独立して活動している状況にありますが、特に、人文科学系については、専門職員の分散から、学術的な調査・研究の機能を十分に発揮できているとは言えません。

そこで、今後は、これまで自然科学系を中心に、文部科学省科学研究費補助金等を活用し、横断的な研究実績を積み重ねてきた中央博物館本館に、人文科学系の専門職員や博物館資料を集約し、学術研究機能を中心に資料の収集・保管、展示機能の強化を図る必要があります。

ただし、分館海の博物館については、研究機能等を発揮する上で海辺に設置する必要があることから、また、房総のむらについては、平成14年の千葉県行財政システム改革行動計画に基づき指定管理者制度を導入し、一定の成果をあげていることから、現状の運営の継続が望ましく、今回の機能集約の対象から除くべきものと考えます。

(2) 強化すべき機能

① 調査・学術研究

専門職員の集約化により人文科学系の学術研究機能の高まりが期待できるとともに、集約化によって専門領域を超えた広域的なテーマに関する共同研究を進めることが可能となります。共同研究においては、市町村立博物館職員等を参加可能とする公募型や県民参加型等の研究を検討するなど、現在の市民研究員体制の強化も求められます。

また、調査・研究をはじめ、資料保管等においても、専門的技術が必要なことから、長期的な視点で、専門分野間のバランスを考慮した人材育成が大切となります。

さらに、調査・学術研究の成果については、論文、展示、講座、Web等を通じて情報発信し、県民と共有することで、新たな「知の創造」にもつながっていくことから、よりわかりやすく、迅速に伝わるよう発信・還元機能を高めていく必要があります。

「知の創造」とは、博物館資料の活用に加え、フィールドワークや実験等に基づく専門領域又は分野を横断した調査・研究等により、千葉県の自然、歴史、産業、文化等に関する新たな知見を生み出すことであり、その成果を広く公開・発信することで、さらに新たな知へとつなげていくものです。

② 資料の収集・保管

博物館には、自然、歴史、産業等の多彩な資料があり、機能の集約・強化に伴って収蔵能力を向上させる必要があります。

このことは、収蔵スペースの確保もさることながら、資料を将来世代へ安全かつ良好な状態で継承するために必要な様々な機能を強化することも意味します。さらに、近年の気象状況に鑑み、自然災害等の非常事態が起きた場合、**県内の博物館資料救済ネットワークの拠点である県立博物館には、一時避難場所としての役割も強く求められ、~~県内の博物館資料救済ネットワークの拠点である~~**ことから、より防災機能の高い収蔵庫の充実が必要です。

また、自然科学、人文科学双方の研究に関連した資料の収集によって、専門領域のみならず、多分野からの新たな意義付けやストーリーの提供などが可能となります。デジタルアーカイブの構築においては、知の創



中央博物館サークル活動「青葉の森の虫探し」

造の基盤となるよう、これまで蓄積されてきた調査・研究成果や写真等のデジタル化による文化資源情報の充実が求められます。

これまで、中央博物館では、調査・研究に関わるボランティア等の県民が標本を採取する等の実績がありますが、今後は、資料の収集・保管や、デジタル化においても、県民参画の機会を提供することが望まれます。

③ 展示等

博物館資料の一元管理により、中央博物館の常設展示は、~~において~~人文科学系の充実を図り、自然科学系と合わせた総合展示としてリニューアルしていくことを求めます。

また、時事的な話題にも即応できるよう可変性・柔軟性のある展示コーナーも設け、「いつでも新しく楽しく学べる展示」を基本に、「本物を見る感動」を提供できる展示を求めます。

さらに、県を代表する博物館として、千葉県の魅力や文化をわかりやすく発信できるような展示、市町村立施設での収蔵資料の巡回展の開催等、様々な取組を行っていくことが必要です。

このほか、博物館の魅力の一つとしてミュージアムショップやレストランがあり、企画展示と連動した品揃えや、メニュー開発などの魅力向上を図っていくことも望まれます。

④ 教育・普及

博物館資料と専門職員の集約化によって、様々な年齢層の県民の学び・レファレンスへの迅速で充実した対応が可能となります。

人生 100 年時代に入り、文化庁では、博物館等の社会教育施設において、あらゆる世代が交流し参加することで、新たな地域連携等が生まれていく可能性があるとしています。^{*} その



親子科学クラブの活動の様子

点では、学校や他の社会教育施設等との連携を通じて、県民の学びや知の創造へとつながる拠点としての役割を強化することが必要です。

一方で、博物館が~~が~~実施する各種事業には~~は~~、エンターテインメント性を持たせることも大切であり、親子で楽しめ、何度も参加したくなるような講座・プログラム等の開発と提供が求められます。なお、プログラム開発にあたっては、県民ニーズに沿った内容とすることはもとより、県の魅力、県民の誇りとなるよ

^{*}「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」中央教育審議会(平成 30 年 12 月 21 日)

うなテーマの講座等とし、館内だけでなく市町村施設でも提供するなど、多くの県民が享受できるような工夫が必要です。

⑤ 支援

中央博物館は、県内の博物館活動全般の拠点として、市町村立博物館等への調査・研究、資料活用、教育普及等の面で支援に関する機能強化が求められます。

博物館の専門職員は、文化財に関する知見や取扱いについての技術を有していることから、文化財の保存・活用面での指導・助言の役割が求められます。現在、県教育委員会で策定を進めている「文化財保存活用大綱」にも博物館の役割を位置付ける必要があります。

また、調査・研究等に係る技術・知見を博物館内部で継承するのは当然ですが、市町村職員や県民へもそれを伝え広げていくという役割もあり、研修の機会を数多く設け、かつ広く提供していくことを求めます。

さらに、大学、企業、自治体、観光等の様々な機関との幅広い連携・協力体制を構築することにより、専門分野の知見を活かしながら、地域・観光振興等へ貢献することが大切です。そうした活動を継続する中で、社会的な地位が一層高まり、ひいては事業連携や助成金等の経済的支援を得ることにつながっていくことも期待できます。

このほか、中央博物館は、博物館資料救済ネットワークにおけるセンター館として位置付けられています。非常時には県下の公立・私立の博物館の被害状況の情報収集を行うとともに、被災した博物館からの要請に基づき資料の救済を行う役割があります。近年の気象状況等に鑑みると、その役割は、今後、更に高まると予想されます。



浸水した植物標本のレスキュー作業風景



平成 29 年度千葉県博図公連携事業における研究会の様子

(3) 管理・運営・整備の方向性

○ 管理・運営について

中央博物館は、県内の博物館活動の拠点として、高度な調査・学術研究、市町村立博物館等の支援、人材育成、大学、企業との幅広い連携を推進していく必要があります。

また、専門職員の育成を長期的な視点から継続させていく必要があります、これらの状況に鑑みると、今後も県直営を継続するのが適当といえます。

○ 常設展示について

開館以来更新されていない常設展示については、ワンストップで、千葉県 の自然・歴史・文化等に触れることができるようリニューアルが必要です。

新たな展示には、自然科学・人文科学等の学問領域を融合した総合力に秀でた内容とすることが求められます。さらに、時事的な話題を随時紹介でき、充実した企画展示が可能となるようスペースの確保や可変性の高い展示室とすることも必要です。

リニューアルの検討にあたっては、長期的視点で技術面や法令面の課題等を十分に検討し、維持・更新の計画を立てて進めることを望みます。

○ 収蔵庫について

収蔵庫については、総合博物館として、集約化する資料の保管用のスペースを確保することに加え、様々な素材からなる~~でできている~~博物館資料を適切に保管するために複数の恒温恒湿機能、文化財害虫の侵入を許さない密閉機能、不活性ガスによる消火機能、高いセキュリティ機能等も備える必要があります。

さらに、近年多発している風水害にも対応できるような防災機能を備えるとともに、被災~~施設時~~の資料を~~一時的に保管する~~救済用スペースも確保されることが望まれます。

以上、今後の中央博物館には、「知の創造」拠点として、これまで以上に県内の博物館活動の拠点としての役割を果たせるよう、調査・学術研究、博物館資料救済、文化財の保存・活用、人材育成等の機能を強化していくことを望みます。

そして、創造した知見が県の内外、さらには海外にも発信され、誰もが千葉県の魅力に触れ、学び親しむために、何度も足を運びたくなる博物館となることを期待します。

5 地域史と特定テーマを扱う博物館について

地域史と特定テーマを扱う中央博物館大利根分館、同大多喜城分館、関宿城博物館、現代産業科学館の4施設について、第一次答申の内容を踏まえ、県教育委員会において地元市町へ利活用についての意見照会を行い、それを踏まえて、県立博物館・美術館部会で慎重に審議をしてきました。

それぞれの施設の状況、地域における位置付け等によって、活用の可能性が異なることが確認でき、4施設については、県による指定管理者制度の導入によるのではなく、存続や活用にあたっては、基本的に地元での利活用等を優先させて考えることが望ましいとの結論に達しました。

4施設についての方向性は次のとおりです。

(1) 中央博物館大利根分館（香取市）

昭和54年に、東下総の地域博物館として、「利根川の自然と歴史」「千葉県の農業」をテーマとする大利根博物館が設置され、平成18年に中央博物館の分館となり、大利根分館と改称しました。

県指定有形民俗文化財の「利根川下流域の漁撈用具」をはじめとした利根川下流域や香取・海匝地域の歴史・民俗資料等、約2万2千点を収集しています。

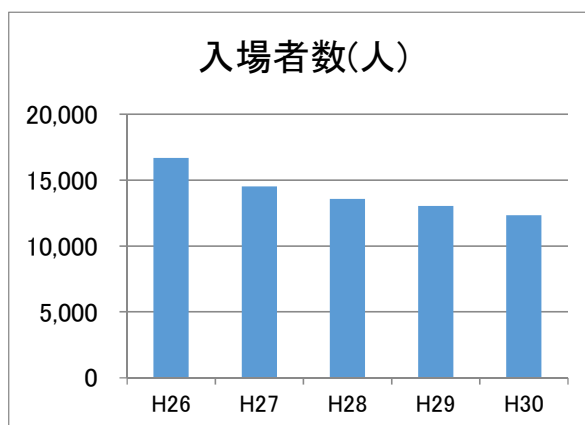
また、隣接する香取市が設置した水郷佐原あやめパーク（旧佐原水生植物園）と連携し、初夏に企画展を開催するなど、地域振興・観光振興に寄与してきました。

一方、年度の下半期の入場者数の低迷に伴い、平成19年度から、下半期を休館とする運営形態をとり、休館中は、小学校中・高学年の学習内容に合わせた「昔の暮らし」「昔の道具」の学校への貸出しや、学校や社会教育施設への出張展示に特化した活動を実施しています。

また、施設は築40年を経過し、建物・設備の老朽化が顕著に見られ、ここ数年の年間入場者は1万数千人で推移しています。

香取市においては、大利根分館設置後に伊能忠敬記念館を含む3つの博物館等が設置されました。

以上の下半期を休館とする運営や施設老朽化の状況、地元市での博物館設置状況、また利活用の意向がないこと等の事情に鑑みると廃止もやむをえないといえます。



平成26～30年度の中央博物館大利根分館の入場者数

ただし、地元由来の博物館資料については、できる限り地元で有効活用されるよう協議を進めていくことを望みます。

(2) 中央博物館大多喜城分館（大多喜町）

昭和50年に、東上総の地域博物館として、「房総の城と城下町」をテーマとする総南博物館が設置され、平成18年に中央博物館の分館となり、大多喜城分館と改称しました。

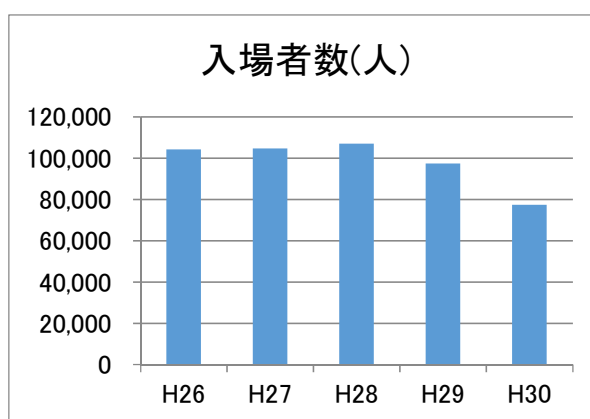
城郭型博物館として、中世から近世の武器・武具資料を中心に約2千点を収集しています。

これまで資料の展示に加え、地元大多喜町のシンボルとして、観光利用とともに、大多喜お城まつり等の地域イベントに寄与してきました。

また、旧大多喜藩に係る町指定文化財の保管や、夷隅・長生地域の文化財展の開催など、文化財の普及・啓発の役割も担ってきました。

ここ数年の年間入場者は10万人前後で推移していますが、施設は築44年を経過し、建物・設備の劣化が顕著であり、耐震性やバリアフリー上の問題もあります。

大多喜城分館については、これまでの実績や地域における役割に鑑みて、引き続き地域振興、観光振興等の面で活用できる可能性が高く、地元町からも同趣旨の意向が示されていることから、地元町における有効活用に向けた協議を進めることを望みます。その際、耐震性・バリアフリーに課題があるため、早期に結論を出すよう努める必要があると考えます。



平成26～30年度の中央博物館大多喜城分館の入場者数

(3) 関宿城博物館（野田市）

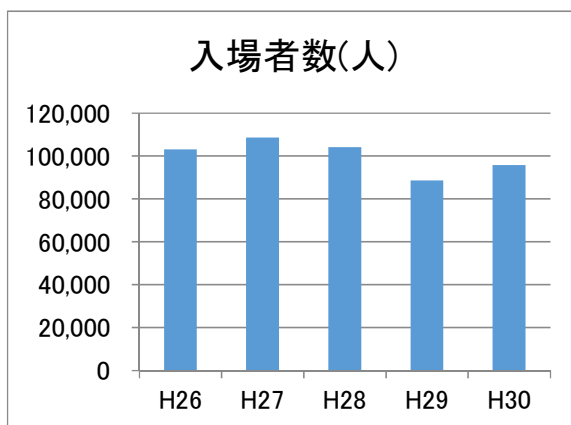
平成7年に、「河川とそれにかかわる産業」をテーマとして設置され、旧関宿城をモデルとした城郭型博物館として「関宿藩の歴史」なども紹介しています。

利根川水系の河川改修と自然災害やその対策の歴史、及び近世から現代に至るまでの産業と河川交通の歴史に関連する資料約2万8千点を収集しています。

これまで資料の展示に加え、地域のシンボルとして、観光利用とともに、関宿城さくらまつり等の地域イベントに寄与しています。

また、周辺自治体と連携した地域情報の発信等も行っており、ここ数年の年間入場者は10万人前後で推移しています。

施設は築24年を経過し、一部設備で不具合が見られるものの、これまでの実績や地域における役割等に鑑み、引き続き地域振興、観光振興等の面でも活用できる可能性が高く、地元市からも同趣旨の意向が示されていることから、地元市における有効活用に向けた協議を進めることを望みます。



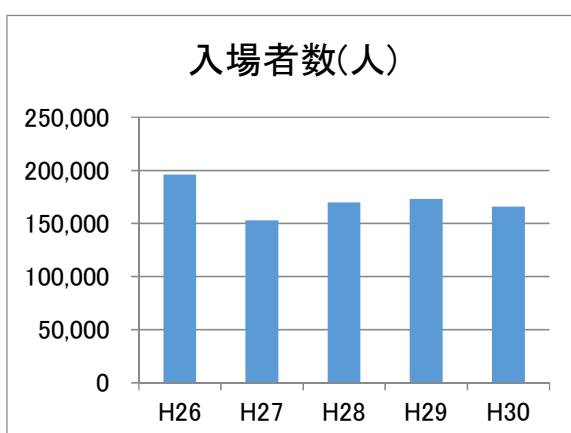
平成26～30年度の関宿城博物館の入場者数

(4) 現代産業科学館（市川市）

平成6年に、「産業に応用された科学技術を体験的に学ぶ」施設として設置され、本県の産業の発展を支えた産業遺産資料と、それを支えた産業革命に関する科学技術資料等を約2,500点収集しています。

主に、「現代産業の歴史」「先端技術への招待」「創造の広場」、及び「科学情報コーナー」で構成しています。「現代産業の歴史」は、産業革命以降の技術的な原理や本県の発展を支えた電力、石油、鉄鋼産業の歴史を、エジソン電球、T型フォード車等の実物や旧川崎製鉄千葉1号高炉の模型等の展示を通じて紹介し、また、「先端技術への招待」は、今日の高度化した情報社会を支える技術や新素材を、展示と実験を通じて紹介しており、展示の中核となっています。これらの展示は、外国の科学館や県内企業等から協力を得たものであり、設置の準備段階から、県内の企業・大学・研究機関等の支援を受け、開館後も、それらの機関等からなる展示・運営協力会の支援・連携のもと博物館活動を継続しています。

ここ数年の年間入場者は17万人前後で推移していますが、施設は築25年を経過し、一部に設備面の不具合が見られ、展示場では入場者が利用する実験装置の老朽化が進んでいます。また、ドーム状の建物は夏季のプラネタリウム上映に特化して利用されています。



平成26～30年度の現代産業科学館の入場者数

現代産業科学館について、地元市からは、隣接する教育機関と連携し、市の教育拠点となるよう学校の整備を

するとともに、博物館の展示資料は、学校の教育課程の中での活用や、市民が自由に見学できる展示形態を検討したいとの意向が示されました。現代産業科学館の教育機能について、地元市が今後も様々な視点で活用を検討する意向につ

いては期待が持たれますが、具体的な計画については今後明らかになると思われ
れます。

現代産業科学館が、地元市からの誘致に基づき設置されたという経緯や、産業
界等の協力のもと本県の発展の礎を築いた現代産業の歴史を核とした、貴重な
展示等がなされていることに鑑み、これら中核的な機能が確実に継承され、引き
続き一般利用に供されることを前提に、多くの方々に親しまれるための創意工
夫を含め、継承すべき内容や活用方法等について協議されることを要望します。

以上のとおり、4つの施設については、今後も地元自治体や関係機関等と協
議を踏まえながら、在り方検討を具体的に進めることが必要です。

第二次答申の審議を終えて

本審議会では、県域を俯瞰する中央博物館と、地域史と特定テーマを扱う博物館の今後の在り方について検討を行い、第二次答申をとりまとめました。

検討にあたっては、審議会の下に県立博物館・美術館部会を設置し、現地視察も行い、集中的かつ慎重な審議を進めてきました。

県教育委員会にあっては、この第二次答申を、第一次答申ともに尊重し、地元市町や関係機関等と連携を図りながら、答申に示した事項の実現に向けて着実に取り組むことを期待します。

また、これまでの検討は、博物館に特化したものであり、県立美術館は含まれていません。県立美術館については、平成20年度に中・長期的な在り方を検討するため、庁内プロジェクトチーム及び外部委員からなる「在り方検討会」を設置し、「県立美術館の在り方・今後の方向性について」をまとめていますが、その後の美術館をめぐる社会環境等も変化していると思われます。また、県では、文化芸術の振興に関する条例に基づく基本計画策定も進めており、県民満足度の向上に向けて美術館が果たす役割がさらに大切になってきています。

今後は、県教育委員会において、優れた美術作品の鑑賞の機会や、美術活動の場を提供する県立美術館の在り方や活性化等に向けた検討を進めることを求め、「県立博物館・美術館の今後の在り方について」の第二次答申とします。

資料編

千葉県立中央博物館（本館）	1
千葉県立中央博物館大利根分館	3
千葉県立中央博物館大多喜城分館	5
千葉県立関宿城博物館	7
千葉県立現代産業科学館	9
千葉県の主な博物館	11

千葉県立中央博物館（本館）

1 設置目的

千葉県民の自然と歴史に関する知的需要に応えることを目的とし、自然誌を中心とし歴史も加えた総合博物館。

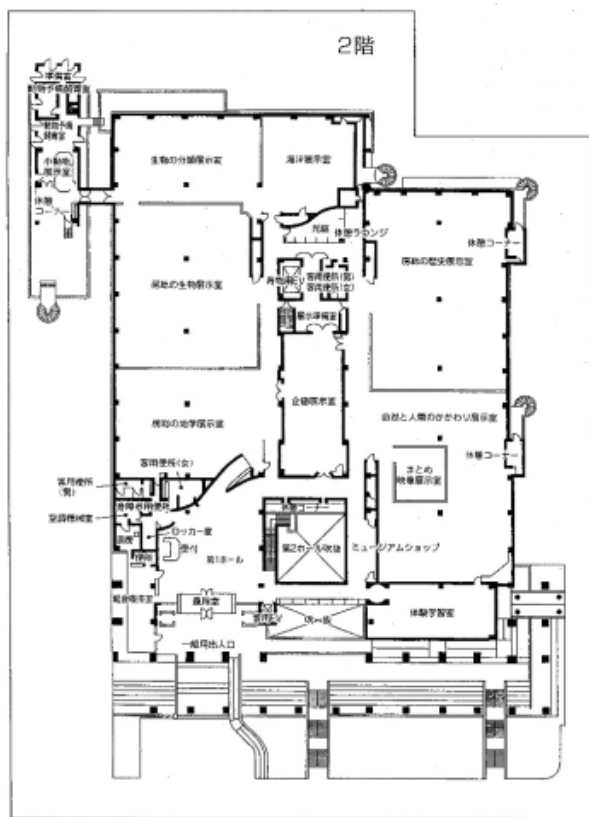
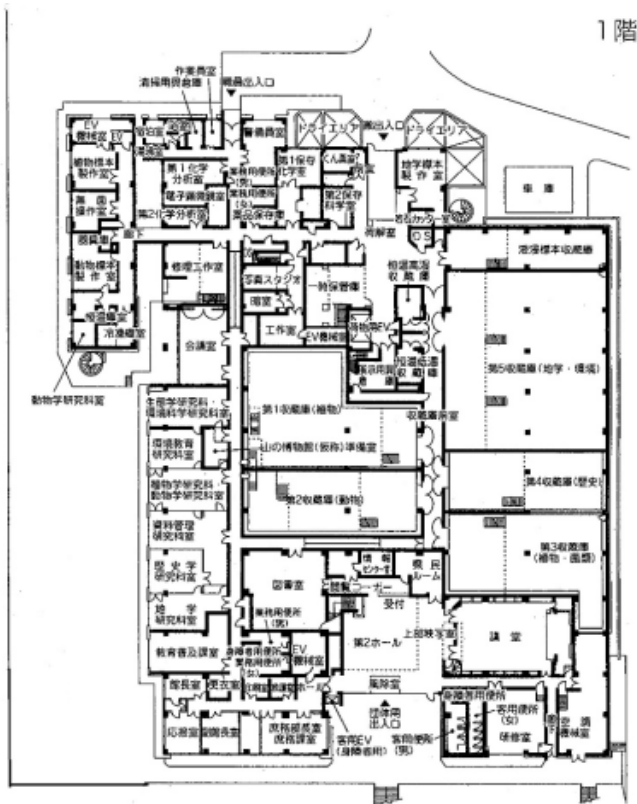
2 敷地等

- (1) 住所 千葉市中央区青葉町 9 5 5 番 2 号
- (2) 敷地面積 9,651 m²（及び生態園 66,000 m²）
- (3) 敷地概要図 右図



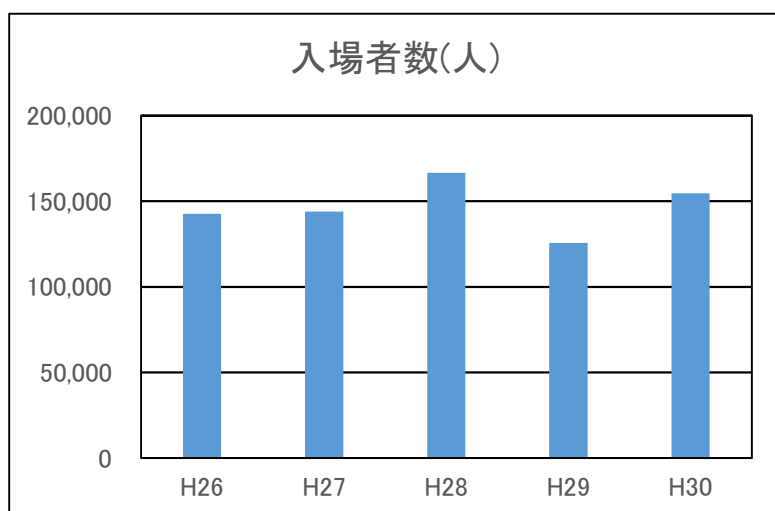
3 建築（昭和63年竣工）

- (1) 建築面積 7,024 m²
- (2) 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上2階
- (3) 間取り図



4 入場者及び職員数、当初予算(除人件費)

年度	入場者数(人)	職員数(人)	当初予算額(千円)
H26	142,635	60	164,672
H27	143,954	61	170,816
H28	166,596	59	177,696
H29	125,608	60	159,702
H30	154,482	60	204,786



5 企画展開催状況

年度	企画展名	会期	入場者数
H26	図鑑が大好き！—ダーウィンからはじまる100の図鑑の話—	平成26年7月19日～10月13日	39,282
H27	妖怪と出会う夏	平成27年7月11日～9月23日	29,566
H28	驚異の深海生物—新たなる“深”世界へ—	平成28年7月9日～9月19日	38,060
H29	きのこワンダーランド	平成29年7月22日～12月27日	36,652
H30	特別展：恐竜ミュージアム in ちば	平成30年7月14日～9月24日	52,776

6 収蔵資料(平成31年3月31日時点)

1,020,946点のうち借用2,898点、受託689点、採集832,458、購入・寄贈等184,901点

主な収蔵資料：地学・動物・植物等のタイプ標本、リンネコレクション、植物並びに園芸文化史関係絵画コレクションなど。

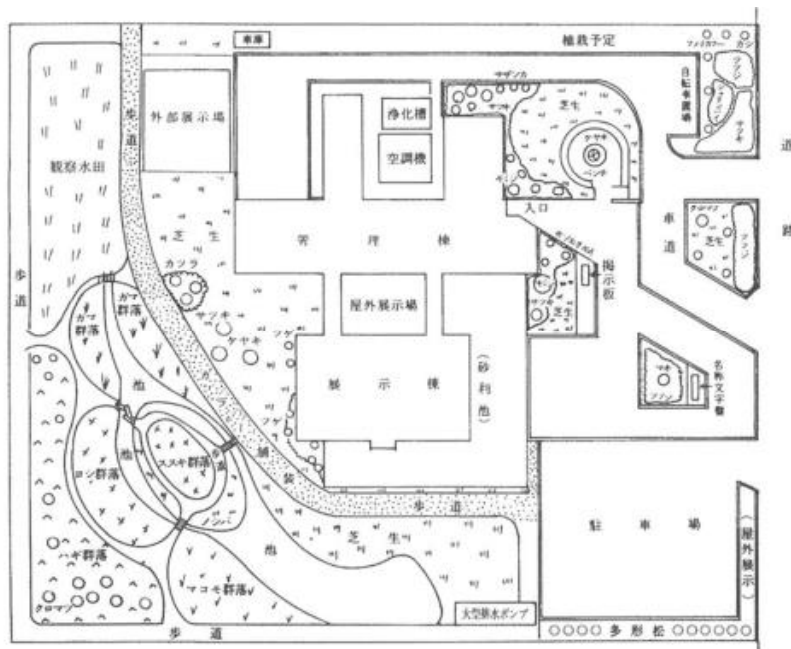
千葉県立中央博物館大利根分館

1 設置目的

東下総の地域博物館として、「利根川の自然と歴史」「千葉県の農業」をテーマとする。
 ※17年度まで1機関・通年開館、18年度から分館化、19年度から下半期休館

2 敷地等

- (1) 住所 香取市佐原ハ4500番地
- (2) 敷地面積：13,195㎡ ※香取市から無償貸与
- (3) 敷地概要図



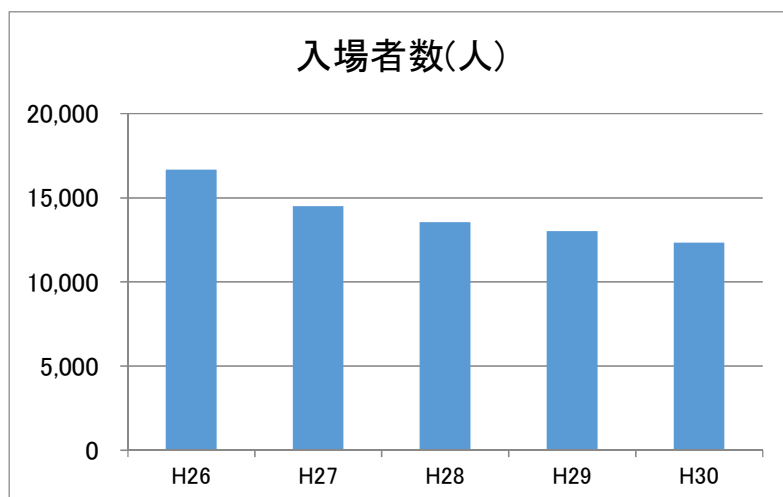
3 建築（昭和54年竣工）

- (1) 建築面積：1,448㎡ 延床面積：1,769㎡
- (2) 構造：鉄筋コンクリート造 地上1階一部2階
- (3) 間取り図



4 入場者及び職員数、当初予算(除人件費)

	入場者数(人)	職員数(人)	当初予算額(千円)
H26	16,668	3	17,528
H27	14,501	3	17,503
H28	13,555	3	17,353
H29	13,017	5	17,296
H30	12,320	4	17,301



5 企画展開催状況

年度	企画展名	会期	入場者数
H26	香取海がもたらしたもの	平成26年5月31日～6月29日	7,621
H27	母の祈り-利根川下流域の女人信仰-	平成27年5月30日～6月28日	6,874
H28	江戸時代房総名所めぐり	平成28年5月28日～6月26日	5,165
H29	ウナギとサケ	平成29年5月27日～6月25日	4,557
H30	利根川下流域の舟運 - 船大工の技術と生活 -	平成30年5月26日～6月24日	3,808

6 収蔵資料(平成31年3月31日時点)

18,548点のうち借用60点、受託2,668点、館蔵15,820点

主な収蔵資料：東下総地域の大地の成り立ちや歴史に関する化石等の自然史資料・土器等の考古資料・古文書等の歴史資料、水郷地域の農具、利根川下流域の漁具、利根川水運・水郷地域の稲作で使用された船舶(実物と模型)、など

千葉県立中央博物館大多喜城分館

1 設置目的

東上総地方の地域博物館として、「房総の城と城下町」をテーマとする。

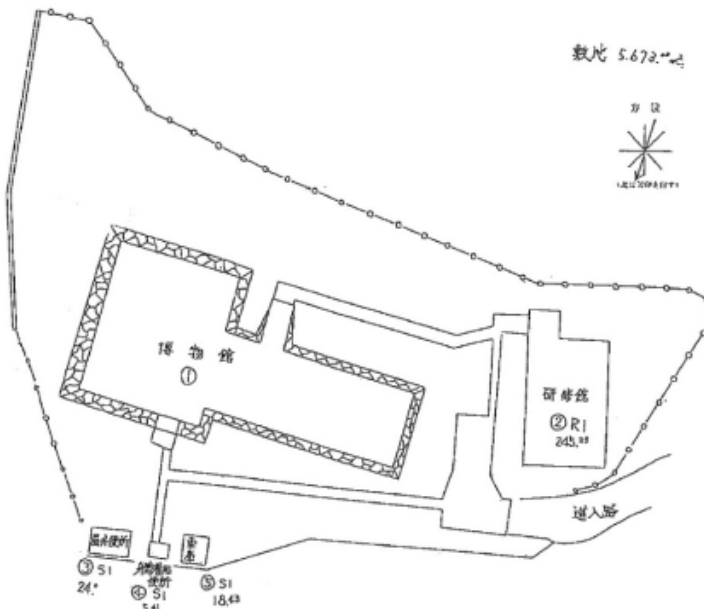
※17年度まで1機関・通年開館、18年度から分館化

2 敷地等

(1) 住所 夷隅郡大多喜町大多喜481番地（県史跡指定地）

(2) 敷地面積：5,673 m²

(3) 敷地概要図

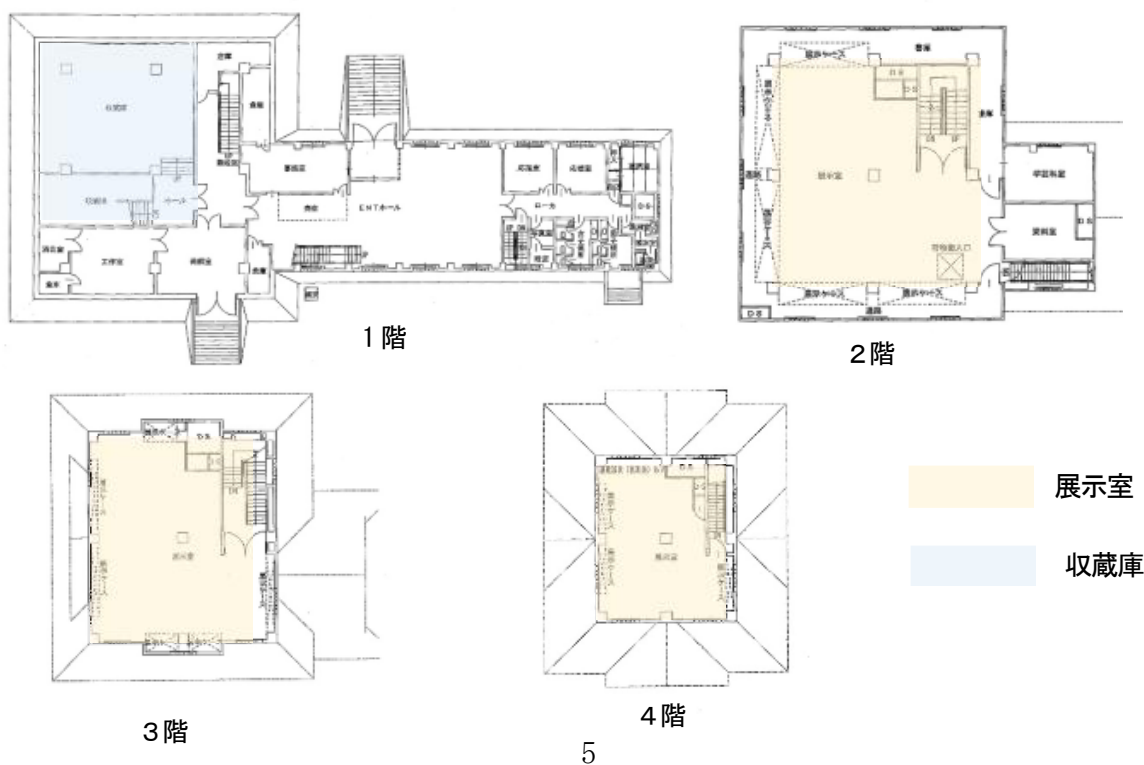


3 建築（昭和50年竣工）

(1) 建築面積：8,632 m² 延床面積：10,972 m²

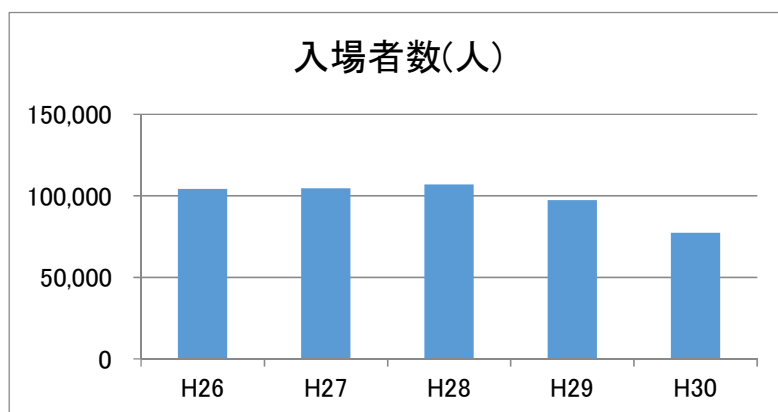
(2) 構造：鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階

(3) 間取り図



4 入場者及び職員数、当初予算(除人件費)

年度	入場者数(人)	職員数(人)	当初予算額(千円)
H26	104,134	4	23,275
H27	104,577	4	23,216
H28	106,926	5	24,325
H29	97,368	5	24,257
H30	77,362	4	26,778



5 企画展開催状況

年度	企画展名	会期	入場者数
H26	大河内松平家と大多喜	平成 26 年 10 月 24 日～12 月 7 日	18,003
H27	甲冑とその時代	平成 27 年 10 月 23 日～12 月 6 日	16,415
H28	甦った受難の刀剣～千葉県 <small>の</small> 赤羽刀～	平成 28 年 10 月 21 日～12 月 11 日	16,834
H29	なつかしの街並み - 明治・大正・昭和の大多喜 -	平成 29 年 10 月 20 日～12 月 3 日	11,831
H30	房総ゆかりの甲冑	平成 30 年 10 月 26 日～12 月 9 日	11,578

6 収蔵資料(平成 31 年 3 月 31 日時点)

2,020 点 うち借用 50 点、受託 777 点、館蔵 1,193 点

主な収蔵資料：古代から近世の刀剣甲冑等の武具の実部と複製(千葉県美術品等取得基金購入資料 3 件、うち大薙刀は重要文化財)、漆器や千両箱等の江戸時代の武家や商家の調度品、大多喜藩及び周辺地域に関する古文書、など

千葉県立関宿城博物館

1 設置目的

文化遺産の保護と県民意識の高揚を図る目的で、博物館ネットワーク構想により、「河川とそれにかかわる産業」をテーマとし、特に利根川・江戸川を中心に河川改修や水運の様子、産業や民俗の面から見た地域の人々と川との係わり、近世関宿藩の歴史を扱う千葉県立関宿城博物館（仮称）を設置する。

2 敷地等

- (1) 住所 野田市関宿三軒家143-4
- (2) 敷地面積 11,135 m²
- (3) 敷地概要図



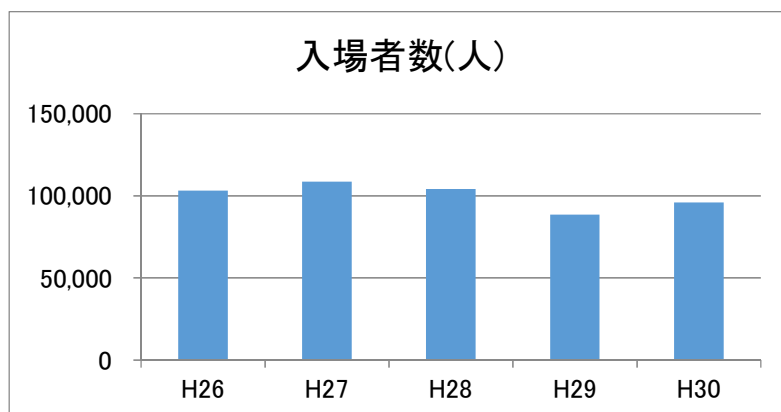
3 建築（平成7年竣工）

- (1) 建築面積 2,104 m²
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造、地上4階
- (3) 間取り図



4 入場者及び職員数、当初予算(除人件費)

年度	入場者数(人)	職員数(人)	当初予算額(千円)
H26	103,056	7	35,400
H27	108,572	7	36,710
H28	104,135	8	36,752
H29	88,501	7	36,173
H30	95,784	8	37,437



5 企画展開催状況

年度	企画展名	会期	入場者数
H26	通運丸で結ばれた関宿・野田・流山-海運へのターニングポイント-	平成26年10月7日～11月30日	13,940
H27	海路から広がったやきもの	平成27年10月6日～11月29日	13,665
H28	つながる 川と海と人～あそぶ・親しむ・守る～	平成28年10月4日～11月27日	12,790
H29	鰯は弱いが役に立つー肥料の王様 干鰯ー	平成29年10月3日～12月3日	13,020
H30	文明開化の力-わたしたち、江戸時代を卒業します！-	平成30年10月5日～12月2日	14,392

6 収蔵資料(平成31年3月31日時点)

28,402点のうち受託26,505点、館蔵1,897点

主な収蔵資料：利根川水系の河川改修・水防資料の他、舟運・河岸・醸造等に係る産業資料、旧関宿藩の武器・武具及び藩政資料など。

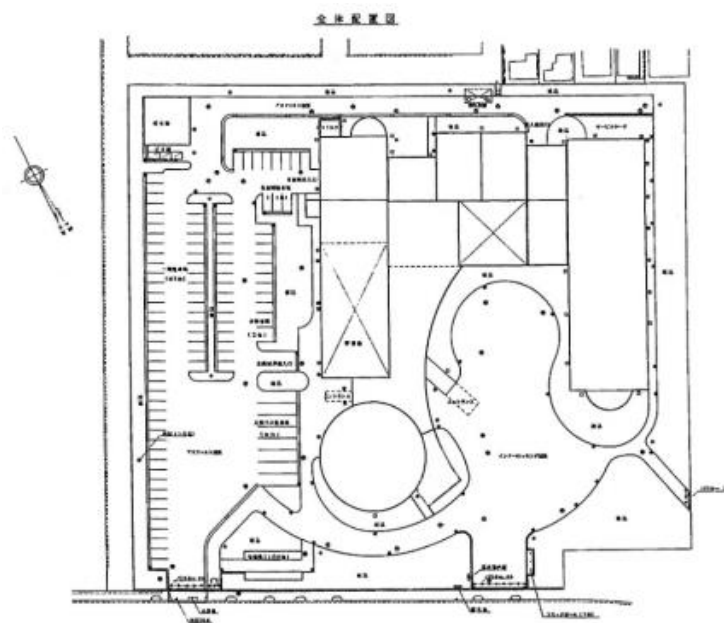
千葉県立現代産業科学館

1 設置目的

科学技術と人間のかかわりを示す産業を主題として、県民の各層に科学技術に対する理解を深め、創造性を養い、かつ生涯学習体系をふまえた自発的な学習の場を提供するため設置する。

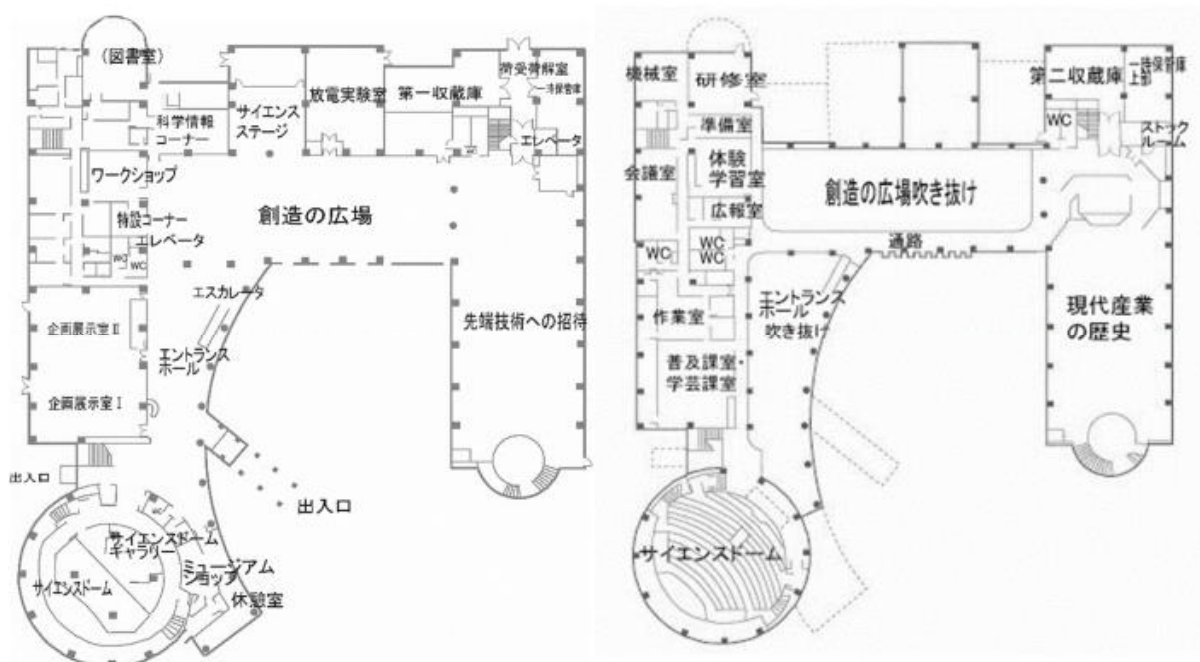
2 敷地等

- (1) 住所 市川市鬼高1-1-3
- (2) 敷地面積 18,182 m²
- (3) 敷地概要図



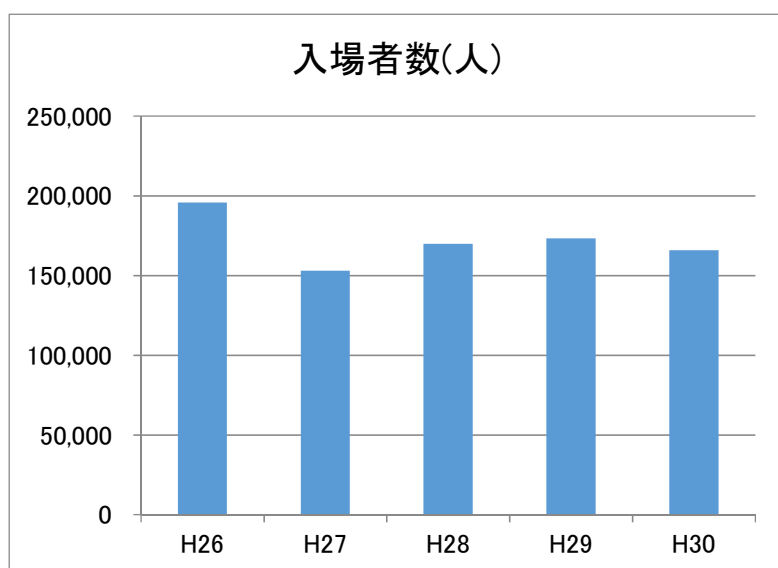
3 建築（平成6年竣工）

- (1) 建築面積 5,150 m²
- (2) 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上2階
- (3) 間取り図



4 入場者及び職員数、当初予算(除人件費)

年度	入場者数(人)	職員数(人)	当初予算額(千円)
H26	195,808	25	138,989
H27	152,887	26	137,643
H28	169,778	26	144,957
H29	173,156	26	136,438
H30	165,900	27	132,821



5 企画展開催状況

年度	企画展名	会期	入場者数
H26	生物のデザインに学ぶー未来をひらくバイオミメティクスー	平成26年10月11日～11月30日	9,903
H27	最先端ネットワークのかたち	平成27年10月23日～12月6日	7,264
H28	出発進行ーもっと・ずっと・ちばの鉄道ー	平成28年10月14日～12月4日	16,852
H29	ちばの発酵	平成29年10月14日～12月3日	12,872
H30	宇宙の味-宇宙日本食と食品保存技術-	平成30年10月13日～12月2日	10,460

6 収蔵資料(平成31年3月31日時点)

2,587点 うち借用19点、受託6点、館蔵2,562点

主な収蔵資料：T型フォード・旧川崎製鉄千葉1号高炉模型等の電力・製鉄・石油産業の歴史資料、ウォーターロケット等の科学原理の実験器具、光ファイバー等の県内メーカーの先端科学技術の製品など。

千葉県的主要博物館

地区	市町	種別	設置	施設名	主な資料
葛南	市川市	登録	公	市立市川考古博物館	考古資料, 国分寺関係資料
		登録	公	市立市川歴史博物館	歴史・民俗資料
		登録	公	市立市川自然博物館	市川の自然関係資料
		登録	県	千葉県立現代産業科学館	産業歴史関係資料, 自然科学資料
		相当	私	和洋女子大学文化資料館	考古資料・民俗資料・鉱物資料
		類似	公	市川市動植物園	哺乳類・鳥類・爬虫類, 観賞植物など
	船橋市	類似	公	市川市東山魁夷記念館	東山魁夷関係資料
		登録	公	船橋市郷土資料館	考古・民俗・歴史資料
		登録	公	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	飛ノ台貝塚及び船橋内縄文遺跡出土資料
		相当	私	日本大学理工学部科学技術史料センター	関東大震災歴史的記録等
		登録	公	八千代市立郷土博物館	考古・民俗・歴史資料
		類似	公	八千代市市民ギャラリー	星襄一の版画作品ほか, 八千代市所蔵の作品
	浦安市	登録	公	浦安市郷土博物館	民俗・歴史資料, 貝類標本
	習志野市	—	—	—	—
東葛飾	松戸市	登録	公	松戸市戸定歴史館	松戸徳川家関係資料
		登録	公	松戸市立博物館	歴史, 考古, 民俗
	野田市	登録	公	野田市郷土博物館	考古, 歴史, 民俗, 醤油関係資料, 童謡作家山中直治関係資料
		登録	私	上花輪歴史館	高梨本家関係資料
		登録	県	千葉県立関宿城博物館	河川の歴史民俗関係資料, 関宿藩関係資料
		登録	私	茂木本家美術館	浮世絵, 日本画, 版画
		類似	公	野田市鈴木貫太郎記念館	鈴木貫太郎関連資料
	類似	公	野田市関根名人記念館	関根金次郎の業績を顕彰, 将棋に関する文献や資料など	
	柏市	類似	公	柏市郷土資料展示室	歴史資料, 砂川コレクション等
	流山市	登録	公	流山市立博物館	考古資料・民俗資料・歴史資料・永井コレクション
		類似	私	一茶双樹記念館	古美術・民俗・歴史・地学資料・動物
	我孫子市	登録	公	我孫子市鳥の博物館	鳥類
鎌ヶ谷市	類似	公	鎌ヶ谷市郷土資料館	考古・民俗・歴史資料	
北総	成田市	登録	私	成田山霊光館	美術・郷土玩具・考古・民俗・古文書・昆虫標本・植物標本
		登録	私	成田山書道美術館	書道, 絵画
		相当	私	宗吾霊宝殿	木内惣五郎の遺品, 参考品, 民俗資料, 古美術資料
		類似	公	成田市三里塚御料牧場記念館	近世牧・御料牧場関連資料
		類似	公	成田市下総歴史民俗資料館	考古・歴史資料や町内の民俗資料
	佐倉市	登録	私	塚本美術館	刀剣
		登録	公	佐倉市立美術館	オランダ・佐倉ゆかりの美術
		相当	私	D I C川村記念美術館	近現代美術資料(絵画・塑像・彫刻等)
		—	国	国立歴史民俗博物館	国内の歴史と民俗に係わる資料
		類似	公	佐倉市武家屋敷	武家屋敷出土品, 旧河原家住宅(県指定有形文化財), 旧山馬家住宅(市指定有形文化財), 旧武原家住宅
		類似	公	佐倉順天堂記念館	順天堂使用の手術機具, 顕微鏡(複製), 旧佐倉順天堂(県指定史跡)
		類似	公	旧堀田邸	旧堀田邸関係資料, 下総佐倉堀田家文書
		類似	公	和田公民館分館(和田ふるさと館歴史民俗資料室)	和田地区民俗資料(佐倉市指定文化財)
	類似	公	佐倉新町おはやし館	伝統行事等	
	旭市	類似	公	大原幽学記念館	大原幽学関係資料, 歴史・民俗資料
		類似	公	飯岡歴史民俗資料館	農業・漁業・水産加工・家庭用品・商業・助五郎関連資料
	八街市	類似	公	八街市郷土資料館	市内発見の埋蔵文化財, 市民から寄贈された古文書, 民具など
	印西市	類似	公	印西市立印旛医科器械歴史資料館	医科器械資料
		類似	公	印西市立印旛歴史民俗資料館	古美術・考古・民俗・歴史資料
	白井市	類似	公	白井市プラネタリウム館	プラネタリウム
		類似	公	白井市郷土資料館	郷土資料・考古資料・芸術作品等
		類似	私	白井そろばん博物館	古算盤・書籍等
	匝瑳市	類似	私	松山庭園美術館	古・近代美術資料
	香取市	登録	県	大利根分館(中央博)	利根川の自然と歴史・房総の農業関係資料
		登録	公	伊能忠敬記念館	伊能忠敬関係資料
		類似	公	水郷佐原あやめパーク	あやめ花菖蒲等の水生植物
		類似	私	香取神宮宝物館	神宮伝世の御神宝や奉獻品等
類似		公	水郷佐原山車会館	山車を中心とした「祭り」関連資料	
類似		公	香取市文化財保存館	城山一号噴出土品, 貝塚, その他古墳出土品	
茨町	登録	県	千葉県立房総のむら	伝統文化の継承と体験学習, 考古資料	
銚子市	—	—	—	—	
四街道市	—	—	—	—	
富里市	—	—	—	—	
酒々井町	—	—	—	—	
神崎町	—	—	—	—	
多古町	—	—	—	—	
東庄町	—	—	—	—	

地区	市町	種別	設置	施設名	主な資料
東上総	茂原市	登録	公	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市ゆかりの美術・郷土資料
		類似	私	服部農園あじさい屋敷	植物資料
		類似	私	茂原牡丹園	牡丹
	東金市	相当	私	城西国際大学水田美術館	浮世絵
	勝浦市	登録	県	分館海の博物館(中央博)	自然誌(海)関係資料
	山武市	類似	公	山武市歴史民俗資料館	農機具・民俗・生活用品・考古・古文書・伊藤左千夫関連資料
	いすみ市	類似	公	いすみ市郷土資料館	古美術・考古・歴史資料
	九十九里町	類似	公	九十九里町立九十九里いわし博物館	イワシの生態に関する資料、いわし漁の歴史に関する資料等
	芝山町	登録	私	歴史の里芝山ミュージアム	考古(はにわ等)、歴史、民俗資料
		登録	私	航空科学博物館	航空機関係
		登録	公	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	考古資料
	睦沢町	類似	公	睦沢町立歴史民俗資料館	考古・農業民俗資料・古文書・仏像彫刻・復元民家
	白子町	類似	公	白子町歴史民俗資料室	歴史・民俗資料(連絡は町教委生涯学習課:0475-33-2144)
	長柄町	類似	私	房総浮世絵美術館	浮世絵
		類似	公	史跡長柄横穴群資料館	第13号墓実物大レプリカ・考古資料※ 電話、FAX番号は長柄町教育委員会生涯学習課・公民館
	長南町	類似	公	長南町郷土資料館	歴史・民俗・考古資料、芝原人形・長南袖だこ関連資料
		類似	私	as it is	工芸品
		類似	私	花菖蒲園白井「田園」・耕導画庵	近代美術資料
	大多喜町	登録	県	大多喜城分館(中央博)	城郭関係資料・武器・武具等の武士関係歴史資料
	御宿町	類似	公	月の沙漠記念館	加藤まさを関連資料
		類似	公	御宿町歴史民俗資料館	五倫文庫(世界の初等教育用教科書コレクション)・農機具・漁具・生活用品
	大網白里市	—	—	—	—
	横芝光町	—	—	—	—
	一宮町	—	—	—	—
	長生村	—	—	—	—
	南房総	館山市	登録	公	館山市立博物館
類似			県	千葉県立館山野鳥の森	野鳥に関するパネル、図書等、約100種類の鳥類
類似			私	館山ファミリーパーク	花を中心とした植物
類似			私	アロハガーデンたてやま	哺乳類、鳥類、熱帯・亜熱帯植物
木更津市		登録	公	木更津市郷土博物館金のすず	考古、宗教、歴史、美術、民俗
		類似	私	木更津わたくし美術館	古美術、絵画
市原市		類似	私	市原ぞうの国	インドゾウを中心とする動物
		類似	公	市原湖畔美術館	美術資料
		類似	公	史跡上総国分尼寺展示室	上総国分尼寺・国分寺跡出土資料等
		類似	公	市原市埋蔵文化財調査センター	市原市内出土考古資料
鴨川市		相当	国	千葉大学海洋バイオシステム研究センター	飼育動物、動物標本、海藻標本
		相当	私	鴨川シーワールド	海水魚、淡水魚、節足類
		類似	公	鴨川市郷土資料館	通貨・切手・書籍・文書・生活文化・産業
		類似	公	鴨川市民ギャラリー	長谷川昂作の彫刻等
		類似	公	鴨川市文化財センター	考古学資料
		類似	私	誕生寺宝物館	日蓮聖人御真筆をはじめとする歴代の筆跡・仏像・古文書類等
君津市		登録	公	君津市立久留里城址資料館	久留里藩関係資料
		類似	私	君津市漁業資料館	ノリづくりを中心とした漁業関連資料
富津市		登録	私	鋸山美術館	浮世絵、日本画、陶磁器
		類似	公	富津埋立記念館	漁業関係民俗資料
		類似	公	高宕山自然動物園	サル
袖ヶ浦市		登録	公	袖ヶ浦市郷土博物館	考古・民俗・歴史・アクアライン関係資料
南房総市		類似	公	南房総市富山民俗資料館	南房総地域の生活用品を中心とする民俗資料、考古資料
		類似	私	白浜海洋美術館	万祝・船首飾・船名額等の海洋民俗資料
		類似	私	海岸美術館	写真家浅井慎平の作品とガラス工芸品等
		類似	私	白浜フラワーパーク	花を中心とした植物
鋸南町	類似	公	鋸南町歴史民俗資料館(菱川師宣記念館)	考古・歴史・民俗資料・菱川師宣関係・醍醐新兵衛関連資料	
千葉	千葉市	登録	公	千葉市立加曾利貝塚博物館	考古(加曾利貝塚出土資料)
		登録	県	千葉県立美術館	千葉県関係、近・現代美術資料
		登録	公	千葉市立郷土博物館	千葉県関係資料・歴史・民俗資料
		登録	県	千葉県立中央博物館	自然誌関係資料、歴史資料
		相当	私	千葉経済大学地域経済博物館	近世江戸地廻り経済圏と房総の名主たち
		類似	公	千葉市美術館	房総ゆかりの美術資料日本文化の核を形成する近世以降の美術品・現代美術
		類似	公	千葉市都市緑化植物園	自然植物
		類似	公	千葉市民ギャラリー・いなげ	美術品: 神谷紀雄作「鉄絵銅彩松波大鉢」他登録文化財「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」
		類似	公	千葉市動物公園	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類などの動物
		類似	私	ホキ美術館	写真絵画等の美術品
		類似	公	三陽メディアフラワーミュージアム	花を中心とした自然植物
		類似	公	稲毛記念館	稲毛ゆかりの民俗・歴史資料
		類似	公	千葉市稲毛民間航空記念館	航空機関係資料
類似	公	千葉市科学館	プラネタリウム、科学原理体験シミュレーション、実物展示		